

## 畜産に携る女性ネットワーク設立趣意書

畜産業は良質な畜産物の供給を通じて、国民の食生活の向上に大きく貢献するとともに、農業の基幹部門として農村の振興と国土の保全に大きな役割を果たしてきました。

これからの畜産業の更なる発展のためには、環境に配慮しながら、国民のみなさんに安全で安心な畜産物を供給することはもちろん、子どもたちへの生命教育などをも担っていく大きな責務があると考えます。

だからこそ、生命を守り育ててきた私たち女性が立ち上がり、夢と希望にあふれ、魅力ある畜産業にしていく必要があるのではないのでしょうか。

私たち畜産に携わる女性たちは、家庭との両立を果たしながら畜産経営を支えています。さらに最近では、女性の持つ感性を生かしながら、自ら生産した農畜産物の加工・直売への取り組みや子どもたちへの生命教育、消費者との交流などを実践し、畜産の大切さを伝えようと活動をされている方々も数多くいらっしゃいます。

しかし、全国的にみれば、畜産に携わる女性たちの声を発信する機会や他の畜産経営との情報交流や研鑽の場が整っているとはいえません。

今後、畜産をより魅力あるものにするために、私たち全国の畜産に携わる多くの女性たちが飼養畜種を超えて集まり、互いに交流を深め、研鑽する場として、また、消費者と交流をはかりながら、畜産をもっと知ってもらうための活動の場として、畜産に携わる女性のネットワークを作することを提案いたします。

平成17年7月吉日

畜産に携わる女性ネットワーク発起人一同